05. 車売却時の税金・還付｜アンケート＆体験談 集計表

記事URL	https://mobility.iid.co.jp/tax/
集計条件	有効回答数：100件想定。数値・筆者メモ・自由記述はご提供の集計データをそのまま反映。

A. 記事内のアンケート配置一覧（集計済み）

Q	設問	回答形式	対応見出し
Q1	車を売る前に、車売却で発生する可能性がある税金について理解していましたか？	単一選択	H2「発生する可能性がある3つの税金」
Q2	車を売る際、税金がかかるのではないかと不安を感じましたか？	単一選択	H2「発生する可能性がある3つの税金」
Q3	売却した車の主な用途はどれでしたか？	単一選択	H2「所得税がかかる事例」
Q4	譲渡所得や売却益の計算を分かりやすいと感じましたか？	単一選択	H2「譲渡所得の計算方法」
Q5	車売却時に、税金・保険料等の還付や未経過分について説明を受けましたか？	単一選択	H2「還付される可能性がある税金と費用」
Q6	実際に還付・返戻または査定額への反映を確認できたものは何ですか？	複数選択	H2「還付される可能性がある税金と費用」
Q7	車売却後の税金関係で最も困ったことは何ですか？	単一選択	H2「税金関係で注意すべき5つのポイント」
Q8	車売却に関して確定申告をしましたか？	単一選択	H2「確定申告をする時の流れ」
Q9	税金について誰かに相談しましたか？	単一選択	H2「確定申告をする時の流れ」

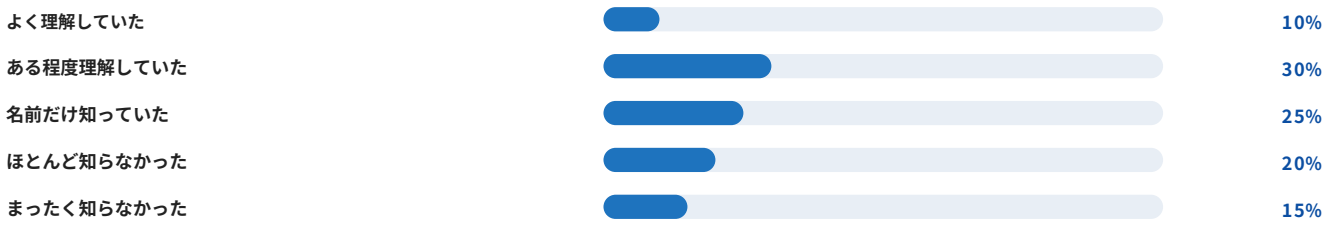
B. アンケート集計結果

Q1. 車を売る前に、車売却で発生する可能性がある税金について理解していましたか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「発生する可能性がある3つの税金」

回答内容	回答数	割合
よく理解していた	10	10%
ある程度理解していた	30	30%
名前だけ知っていた	25	25%
ほとんど知らなかった	20	20%
まったく知らなかった	15	15%
合計	100	100%

割合グラフ



【筆者の体験メモ】

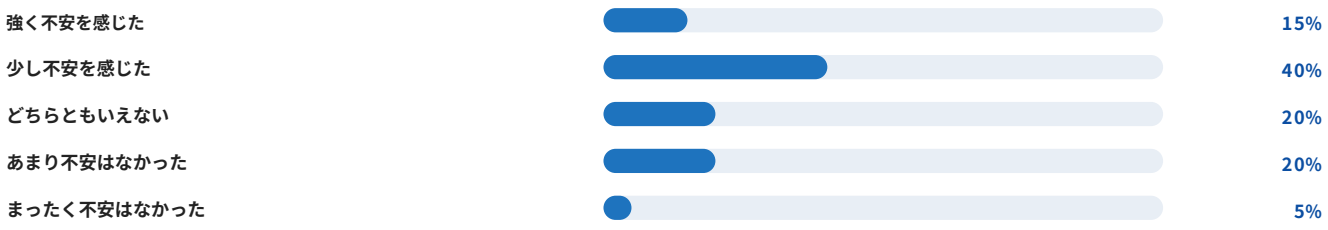
（記入観点：売却前に特に分からなかった税金） 元整備士の私でも、所得税（譲渡所得）が「どんな車」にかかるのか、正確な境界線は調べるまで曖昧でした。一般的には「売って得をしなければ税金はかからない」という認識で間違いありませんが、消費税が査定額に含まれる仕組みなどは、実際に売却を経験して初めて実感する部分でした。

Q2. 車を売る際、税金がかかるのではないかと不安を感じましたか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「発生する可能性がある3つの税金」

回答内容	回答数	割合
強く不安を感じた	15	15%
少し不安を感じた	40	40%
どちらともいえない	20	20%
あまり不安はなかった	20	20%
まったく不安はなかった	5	5%
合計	100	100%

割合グラフ



【筆者の体験メモ】

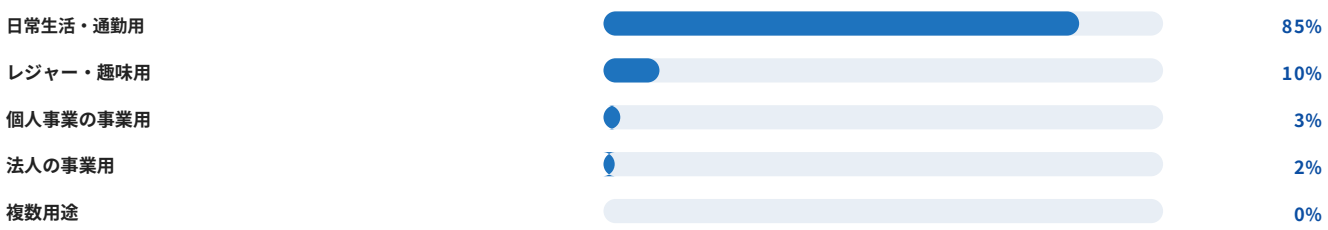
（記入観点：不安の具体的な内容） 「高値で売れたのは嬉しいけれど、後から税務署から通知が来たらどうしよう」という不安を持つ方は非常に多いです。特に個人事業主として車を使っていた場合、売却益が事業所得になるのか、譲渡所得になるのかという仕訳のルールが複雑で、申告漏れにならないか一番気をもみました。

Q3. 売却した車の主な用途はどれでしたか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「所得税がかかる事例」

回答内容	回答数	割合
日常生活・通勤用	85	85%
レジャー・趣味用	10	10%
個人事業の事業用	3	3%
法人の事業用	2	2%
複数用途	0	0%
その他	0	0%
合計	100	100%

割合グラフ



【筆者の体験メモ】

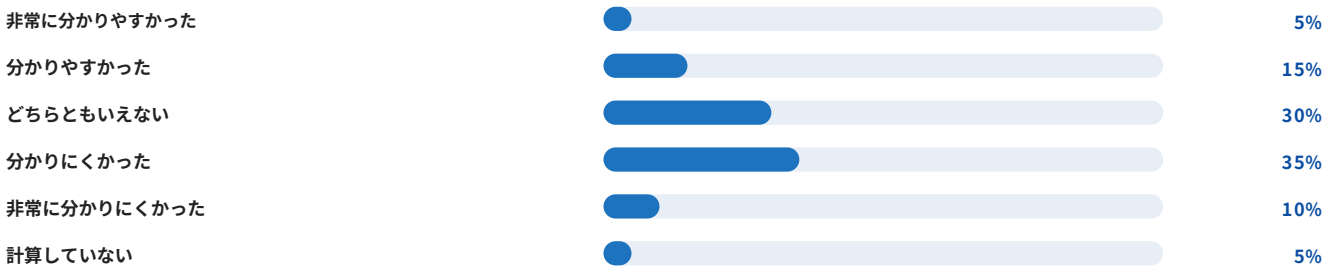
（記入観点：用途によって税務上気になった点） 日常生活用の車（通勤・買い物）であれば、50万円以上の利益が出ても原則「非課税（生活用動産）」となるルールは、もっと知られるべき安心材料です。私の場合も通勤用だったため所得税の心配はありませんでしたが、これがもし「週末専用のスポーツカー」だったら、プレミア価格での売却時に課税対象になっていた可能性があります。

Q4. 譲渡所得や売却益の計算を分かりやすいと感じましたか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「譲渡所得の計算方法」

回答内容	回答数	割合
非常に分かりやすかった	5	5%
分かりやすかった	15	15%
どちらともいえない	30	30%
分かりにくかった	35	35%
非常に分かりにくかった	10	10%
計算していない	5	5%
合計	100	100%

割合グラフ



【筆者の体験メモ】

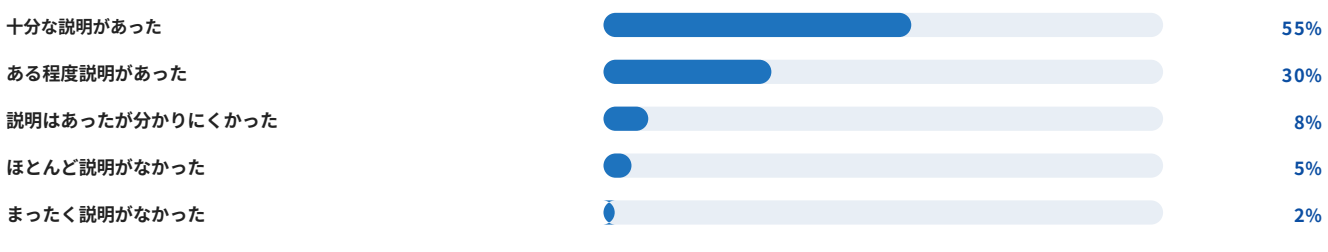
（記入観点：計算で迷った項目）「減価償却」の概念が非常に厄介です。事業用車の場合、購入金額からこれまでの償却分を差し引いた「帳簿価額」を算出しないと正確な利益が出せません。定額法や定率法といった計算式は、一般のユーザーが自分で行うにはハードルが高く、結局は税理士や専門の買取業者に頼るのが無難だと感じました。

Q5. 車売却時に、税金・保険料等の還付や未経過分について説明を受けましたか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「還付される可能性がある税金と費用」

回答内容	回答数	割合
十分な説明があった	55	55%
ある程度説明があった	30	30%
説明はあったが分かりにくかった	8	8%
ほとんど説明がなかった	5	5%
まったく説明がなかった	2	2%
合計	100	100%

割合グラフ



【筆者の体験メモ】

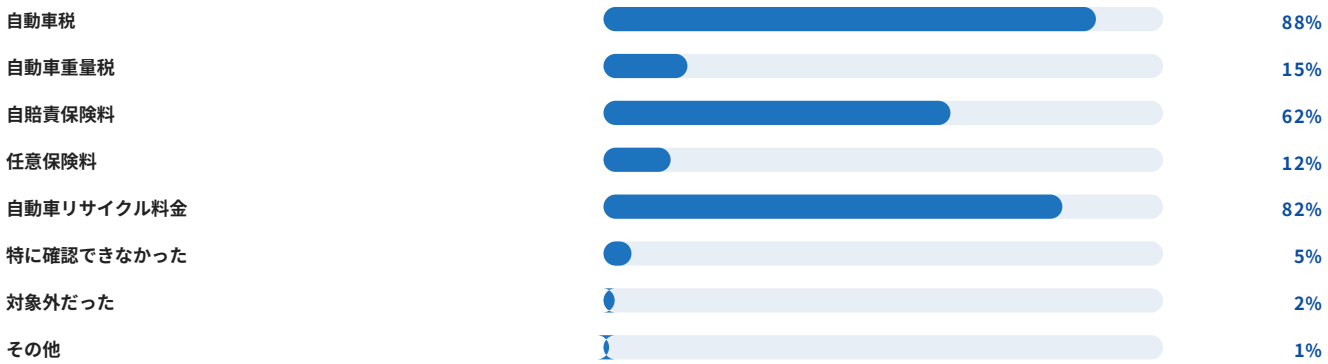
（記入観点：誰からどのような説明を受けたか）大手買取業者の担当者は、見積書の項目を見せながら「自動車税の月割り分が〇〇円含まれています」と丁寧に説明してくれました。対照的に、個人経営のショップでは「込み込みで〇〇万円」とだけ言われ、税金分が正当に評価されているか不透明だった経験があります。信頼できる業者選びが還付を確実にする鍵です。

Q6. 実際に還付・返戻または査定額への反映を確認できたものは何ですか？

回答形式	複数選択	対応見出し	H2「還付される可能性がある税金と費用」

回答内容	回答数	割合
自動車税	88	88%
自動車重量税	15	15%
自賠責保険料	62	62%
任意保険料	12	12%
自動車リサイクル料金	82	82%
特に確認できなかった	5	5%
対象外だった	2	2%
その他	1	1%
延べ回答数	267	-

割合グラフ



【筆者の体験メモ】

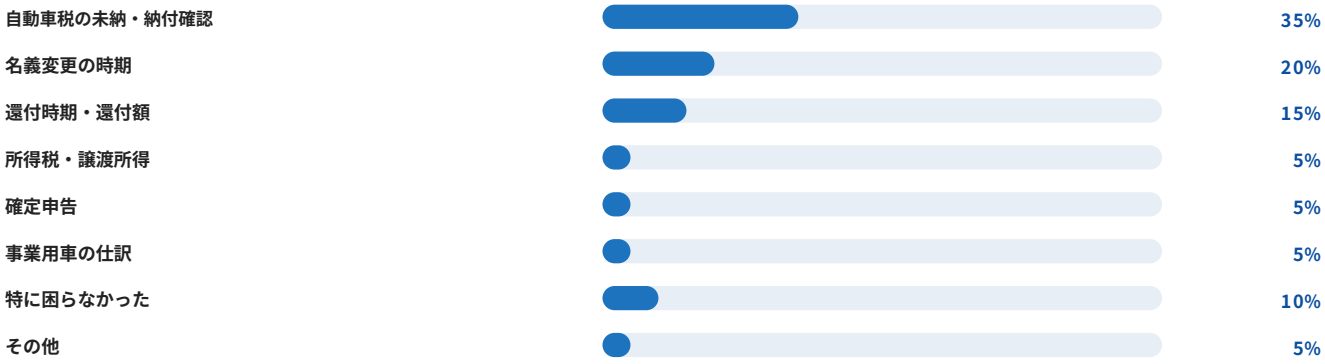
（記入観点：還付額・確認方法・分かりにくかった点） リサイクル料金が「買取額に含まれる」という説明が一番分かりにくかったです。直接現金で返ってくるのではなく、査定総額に上乗せされているため、内訳書をしっかり見ないと損をした気分になります。また、重量税は廃車時しか公的に還付されないため、売却時に反映してくれる業者は非常に稀で、期待しすぎない方が良いでしょう。

Q7. 車売却後の税金関係で最も困ったことは何ですか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「税金関係で注意すべき5つのポイント」

回答内容	回答数	割合
自動車税の未納・納付確認	35	35%
名義変更の時期	20	20%
還付時期・還付額	15	15%
所得税・譲渡所得	5	5%
確定申告	5	5%
事業用車の仕訳	5	5%
特に困らなかった	10	10%
その他	5	5%
合計	100	100%

割合グラフ



【筆者の体験メモ】

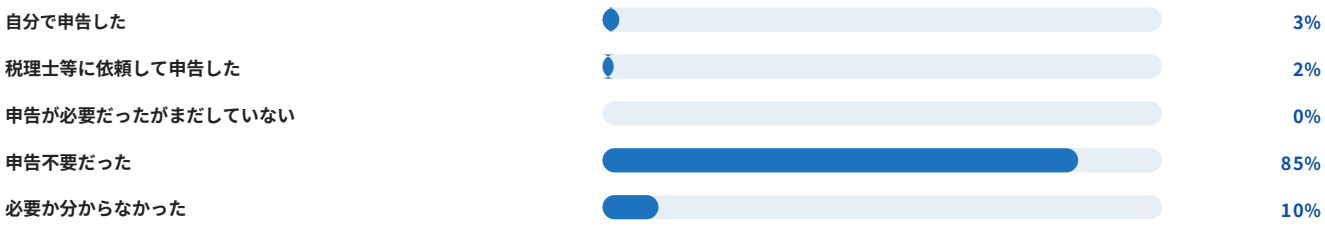
（記入観点：実際に起きたトラブルや確認したこと） 一番のトラブルは「3月に売ったのに、5月に納税通知書が届いた」ことです。名義変更の手続きが4月1日を跨いでしまったのが原因でした。業者に連絡して支払ってもらえましたが、もし個人売買だったらと思うとゾッとします。3月中の売却は「いつまでに名義変更が終わるか」を必ず書面で約束すべきだと痛感しました。

Q8. 車売却に関して確定申告をしましたか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「確定申告をする時の流れ」

回答内容	回答数	割合
自分で申告した	3	3%
税理士等に依頼して申告した	2	2%
申告が必要だったがまだしていない	0	0%
申告不要だった	85	85%
必要か分からなかった	10	10%
合計	100	100%

割合グラフ



【筆者の体験メモ】

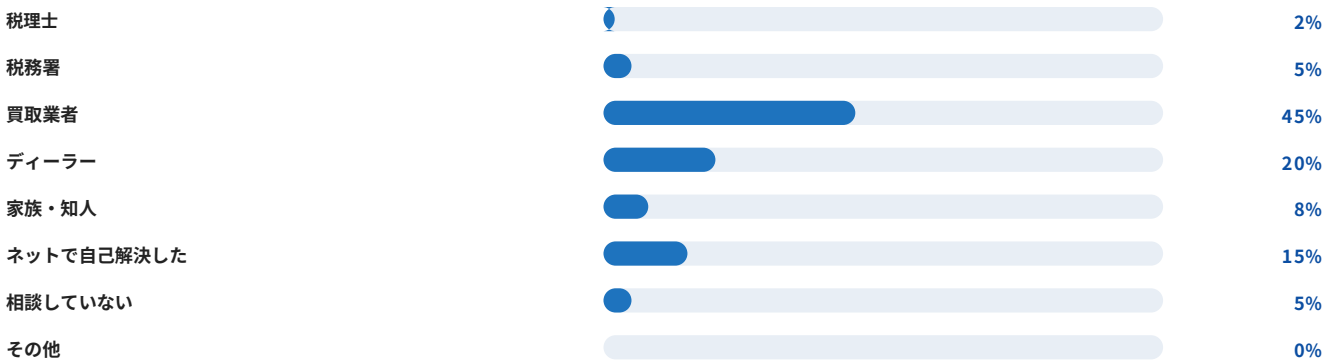
（記入観点：申告手続きの所要時間・難しかった工程） 私の場合、事業用車を売却した際に自分で申告を行いました。国税庁のサイトで入力を進めましたが、譲渡費用の「仲介手数料」や「陸送費」をどこまで経費にして良いかの判断に迷いました。書類が揃っていれば入力自体は30分程度で終わりますが、そこに至るまでの「計算根拠の整理」に数日を要しました。

Q9. 税金について誰かに相談しましたか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「確定申告をする時の流れ」

回答内容	回答数	割合
税理士	2	2%
税務署	5	5%
買取業者	45	45%
ディーラー	20	20%
家族・知人	8	8%
ネットで自己解決した	15	15%
相談していない	5	5%
その他	0	0%
合計	100	100%

割合グラフ



【筆者の体験メモ】

（記入観点：相談して解決した疑問） まずは買取業者に相談しました。彼らは毎日のように税金関連の質問を受けているため、実務上の還付の流れについては税理士よりも詳しかったです。ただ、最終的な確定申告の要否については「念のため税務署へ」と案内され、電話一本で「生活用動産なら非課税」との回答を得て、ようやく100%安心することができました。

C. 自由記述回答（体験談・実回答）

FT1. 車売却時の税金・還付で最も分かりにくかった点を具体的に教えてください。

No.	回答内容（原文）
1	自動車税の還付が、後日県から振り込まれるのか、査定額に既に含まれているのかの区別がつきにくかった。（40代・男性）
2	「生活用動産は非課税」と言うけれど、仕事で数回使ったことがある場合はどちらになるのか、基準が曖昧で不安だった。（30代・男性）
3	軽自動車は月割りの還付がないと聞いて損をした気分になった。業者によって対応が違うのはなぜか納得いかなかった。（50代・女性）
4	確定申告の際、10年以上前に買った時の領収書を紛失しており、取得費をどう計算すればいいのか途方に暮れた。（40代・女性）
5	自動車重量税は廃車にしないと戻らないと言われたが、他店では「査定に含める」と言われ、どっちが本当か混乱した。（30代・男性）

集計データ提供元：ユーザー提供ファイル / 記事URL：https://mobility.iid.co.jp/tax/